

【事業名】 令和6年度社会課題の解決に資する試作品実証補助金 採択事業

# 動物実験代替を目指したSMART試作によるマイクロ流体チップの開発

支援機関 公益財団法人 埼玉県産業振興公社

## 試作品の概要

製品名称	Laboratory injection法によるSMART試作サービス		
企業名	株式会社 Laboko	事業化時期	2027年 4月 (予定)

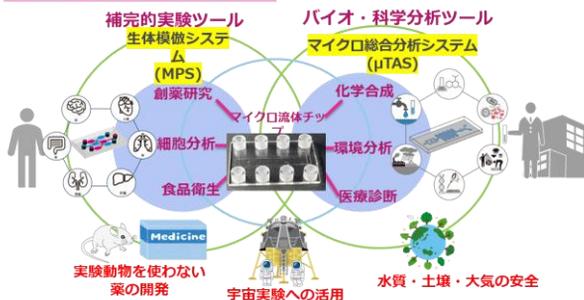
### 製品の概要

私たちは、群馬大学との共同研究体制をとっており、プラスチック製のマイクロ流体チップの作製開発に取り組んでいる。半導体作製技術であるphotolithography法で鋳型を作製し、完全溶解式小型射出成形機(Mold Lock)を用いた成形加工(Laboratory injection法(仮))は、一気通貫型の作製プロセスを1施設内で行うことを可能としている。さらに、企業間の連携体制を構築しているため、ニーズに寄り添った作製工程を選択できる。これは「作ったものを販売する」というより、用途に合わせて流路や金型形状の変更を容易にする「アジャイル型試作サービス(SMART試作)」として提供することにつながる。研究者が抱える課題「マイクロ流体チップにかかるコスト・時間・手戻り」を最小限にし、研究促進を図る。

### 製品の特徴

- ・ ニーズを理解し、最適なシステムを提案
- ・ 小ロット受託製造(共同研究体制の構築)
- ・ アジャイル型の試作サービス(SMART試作)
- ・ 研究用途に応じた材料選定から成形加工、関連装置の組合せをサポート(装置開発)

#### 生物学実験のオンチップ化



#### SMART試作サービス

一気通貫型での作製体制により短期間で試作製造可能  
 研究用途に応じたマイクロ流体チップを作製、提供、研究促進を図る。

#### ハイブリッドモールドの作製



### 連絡先情報

担当部署	(株)Laboko 本社
担当者名	小此木 孝仁
電話番号	090-7007-5373
E-Mail	atsuhito.okonogi@laboko.co.jp